

住民と行政がともに考え、ともにつくる信頼のまち

協働のまちづくりを一層推進します

～町民討議会議・まちづくりサポーター～

今年度からスタートした第四次総合計画の後期基本計画では、協働のまちづくりを一層推進することを重点戦略としています。本町のコンパクトさは、住民との協働を進める上で大きな強みとなっています。平成二十三年度から実施している町民討議会議と、今年度から新たに始めるまちづくりサポーター制度についてお知らせします。

協働の必要性

平成二十五年に実施した住民アンケートの結果によると、約八十六パーセントの方が本町を住みやすいと回答しています。第四次総合計画後期基本計画では、この数値を平成三十一年には九十パーセントにまで増やすことを目標にしています。

多様化する住民ニーズと、限られた財源・人員のなかにあっても住民満足度を向上させるための一つとして、協働によるまちづくりを推進します。住民アンケートでは、約七十九パーセントの方が、まちづくりには住民の参画や協働が必要だと回答しています。

五年目を迎える町民討議会議

町民討議会議は、町の施策について、住民の皆様と議論していただき、その結果をまちづくりに活かそうという試みです。無作為抽出の二十人の住民の方々に案内状をお送りし、

参加希望者のなかから抽選で選ばれた約五十名が集まっています。より多くの住民の皆様にもまちづくりに参画する機会を提供し、町政に関心を持っていただくことを目的としています。世代や職業など、立場の違う方々が集まり、自由に意見を交わしていただくことによって、これまでにない意見が生まれ、参加者に町政をより身近に感じていただくことができます。

平成二十三年度以来、毎年開催しており、今年度で五回目になります。毎年度二十人の方に案内状を送付しており、累計で延べ一万人に達します。本町の十五歳以上の大半の方々に案内状が届いていることになりまします。住民と行政の距離が緊密であることはコンパクト



な本町の強みであり、今後とも一層の協働を進めて一体感のあるまちづくりを目指してまいります。

テーマは「魅力発信・PR戦略」

今年度の町民討議会議は「魅力発信・PR戦略」をテーマに開催します。

「魅力発信・PR戦略」の目的は、「本町に人を呼び込むこと」です。ここでいう「人」は、仕事や余暇活動のために本町を訪れる人と、本町に住まいを構える人の両方です。人を呼び込むためには、「集客施設の整備」や「子育てサービスの充実」などのほか、まちの魅力を効果的に発信していくことも重要です。「空港のあるまち」「航空機産業」「コンパクト」などといった豊山町の魅力を町内外に効果的に発信する方法や、魅力を増進する方法について話し合ってください。

案内状は六月下旬に

町民討議会議は、二日間行います。会議は、グループに分かれた対話と交流が中心です。町職員からの情報提供も行いますので、特別な準備や知識がなくても参加できます。会議の進行は、住民協働の専門家である大学講師のご協力をいただきます。案内状は、六月下旬頃に、中学三年生以上で本町の住